

令和5年度 事業計画

1. 基本方針

新型コロナウイルス感染症は感染拡大から4年目に入り、大きな転換点を迎えました。政府は今年5月8日から感染症法上の位置付けを季節性インフルエンザと同じ5類に移行しマスク着用を含めた全ての規制を解除しました。社会経済活動はウィズコロナ下で正常化に向かうこととなります。

当センターの事業活動は新型コロナ禍、感染症対策を実施しながら順調に回復してきました。今年度は社会経済活動が正常化に向かうため、新型コロナ関連事業の減収が見込まれます。新たな就業機会の創出と拡大に向け、取り組みを推進していきます。また、3年間中止している「ふれあい事業」は会員の健康を考慮し、可能な行事より再開していきます。

人口減少、少子高齢化が進展するわが国で、誰もがいくつになっても活躍できる社会の実現が求められています。当センターでは全国シルバー人材センターの「会員100万人達成計画」を踏まえて、プロジェクトを推進し、会員拡大を図っていきます。

消費税法の改正により、令和5年10月よりインボイス制度が施行されます。その対応については、県シ連、地域シルバー人材センターと連携を取りながら的確に対応していきます。

新型コロナウイルス感染症対策の実施は個人の判断となりましたが、当センターとしては会員の安全と健康を第一義に取り組みを進めていきます。

令和5年度の重点取り組みは

- ① 安全・適正就業を徹底し、無災害を達成する。
- ② 就業機会の創出と拡大を図り、会員の就業率と受託収益の向上を達成する。
- ③ 会員拡大に向けた取り組みを一層強化する。
- ④ 消費税インボイス制度の的確な対応を図る。
- ⑤ 足柄地区シルバー人材センター連絡協議会と連携し事業運営の発展に努める。

今年度の事業計画は新型コロナの感染状況によって、計画変更が生じます。

2 事業実施方針

*行 動 指 針

お客様から信頼され、真に喜ばれるサービスを提供する。
そして、何よりも安全を優先にする。

*行動のキーワード

- ・常にお客様の身になって考え、誠意をもって行動する。
- ・生きがい就業に徹し、生涯現役を貫く。

(1) 安全・適正就業の推進

①安全就業

シルバーの活動で大切なものは、無事故で安全に就業することです。組織を挙げて安全対策を推進し、障害事故の撲滅を図るため、安全意識の徹底とその高揚に努め効果的な安全対策を推進します。

- ・安全パトロールの実施(安全委員会・センター役職員)
- ・安全保護具の着用、飛散防止ネット等の設置の徹底
- ・熱中症対策の徹底
- ・就業現場におけるコロナ感染予防対策の徹底
- ・安全就業に関する講習会等の実施
- ・安全就業基準の見直し(確認表等の追加)
- ・自転車での就業現場への行き帰りには、ヘルメット着用に努める

②適正就業

危険・有害等高齢者に不向きと思われる就業内容の確認を行うなど、適正就業ガイドラインに沿った業務運営を推進します。

- ・就業の適正化
- ・就業先訪問等による適正就業の確認

(2) 就業機会の確保(創出)・拡大

当センターの就業率は、令和3年度実績73.3%であり、県平均57.2%を上回る実績ではありますが、会員の高齢化に伴い就業形態も変わりつつあり、約50名弱の未就業者及び新規加入者に対応するため、新たな就業先の確保に努めます。

① 地域に対する普及啓発

- ・ 広報媒体を活用した普及啓発活動の実施
- ・ シルバー活用チラシの配布と会報「シルバー開成」による普及啓発活動による情報発信
- ・ HPの充実とHPを活用した情報提供
- ・ 掲示板設置に伴う会員及び住民への情報提供

② 就業先拡大のための普及啓発

- ・ 理事、会員、事務局の連携による普及啓発(企業、各種団体等へ)
- ・ イベントへの参加による普及啓発
- ・ 高品質な仕事の提供(センターの信頼性が高まり、事業展開が有利)

③ 組織体制の整備・拡充

- ・ 技能職、特に剪定、大工のできる会員の確保
- ・ 後継者の育成

(3) 会員の増強促進

全国的に会員の減少傾向が続き、会員の増強は事業運営継続のためには不可欠でありますので、会員の加入促進に取り組みます。

(令和3年度末の会員数172名に対し、令和5年2月末での入会者15名、退会者13名であり、現在会員は、174名)

- ・ 会員募集チラシの全戸配布による入会案内
- ・ 入会説明会の回数の増加(定期的説明会：4回、女性入会説明会、休日入会説明会の開催)
- ・ 全会員が営業マン(会員による知人、友人への勧誘と仕事獲得のための声掛)

(4) 研修・講習会の開催

入会者や会員がシルバー事業の趣旨を理解して就業することや発注者のニーズに対応できる技術を身につけ、安全に就業するため研修や講習会を開催する。

- ・ 入会者向け研修
- ・ 技術向上を図る講習会(草刈り機械取り扱い、植木剪定等)
- ・ 安全就業に関する講習会(救急救命講習会)及びKYT(危険予知)活動実践研修の開催

(5) 奉仕活動

地域社会への貢献及び社会参加活動の一環として、ボランティア活動で「で

きることを、できる範囲で」行います。

- ・シルバーの日における公共施設等の環境整備
- ・あじさい祭への参画、奉仕活動
- ・文化活動への参加・協力
- ・就業現場への行き帰りや就業の合間に「子供見守り活動」を行います

(6) 相談・情報提供

会員へは各種資料の提供や会議等を通じ情報提供に努めるとともに、会員、一般家庭、企業等から就業や雇用等に関する相談があった場合積極的に対応します。

- ・リーダー会議の開催
- ・町民、企業等からの相談・情報提供

(7) 財政の安定化と公益法人としての経営

高齢化が進みつつある当町において、センターは労働力だけでなく、高齢者福祉施策の観点から必要な組織であることを行政へ説明し財政確保に努めるとともに、公益社団法人としての収支相償の原則に従い、予算執行の制度を高め、財政の安定化に取り組みます。

- ・町への支援拡充の要請活動の継続
- ・経費の見直しによる経営の安定化
- ・定期的な帳簿の管理
- ・自主事業の充実、強化
- ・インボイス制度への対応…本制度が導入されることを前提とした財源確保と制度改正への対応

(8) 調査・研究事業

シルバー事業の効率的かつ円滑な運営を行うため、先進的な取り組みの情報収集に努め、調査研究に取り組みます。

- ・(仮)シルバーポイント制度の検討
- ・デジタル技術活用の検討
- ・法令や制度改正への対応

(9) その他

神奈川県シルバー人材センター連合会や足柄上地区をはじめとした他のセンターとの足並みをそろえ対応し、センターの状況に応じた対応が必要な部分は当センターの判断によることとする。

(10) 事業目標

令和5年度目標値

区 分	目 標 値
会 員 数	180人
受 託 件 数	800件
就 業 率	80%
受託事業収益	71,000千円